

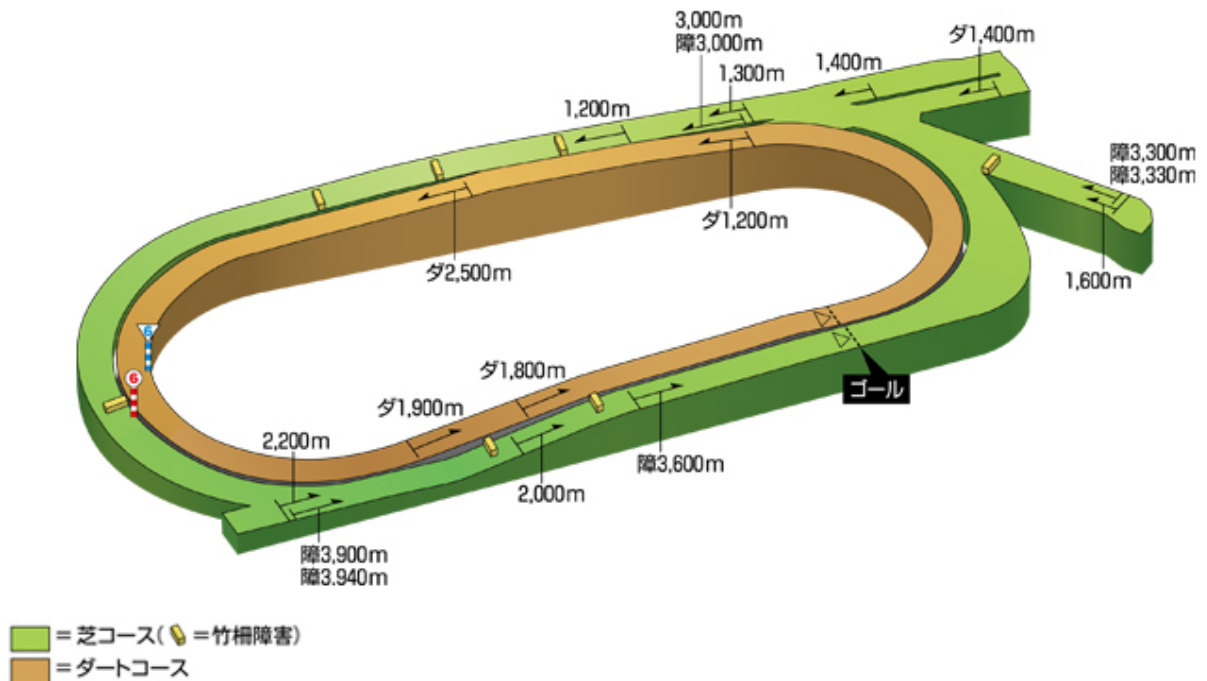


「中京競馬場徹底攻略ガイド」

presented by KAZ@競馬はビジネスである



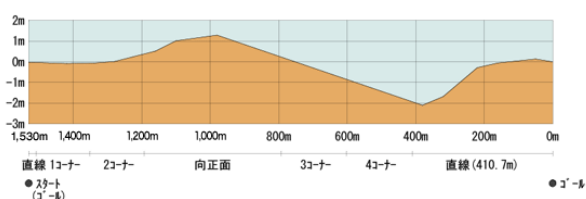
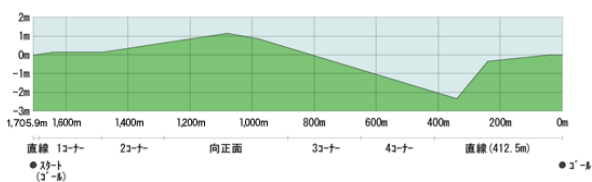
～中京競馬場の特徴～



以前は小回りでトリッキーなイメージが強かった中京競馬場だが、2012年のリニューアルとともに全く違うコースに変貌。直線が長い左回りコースで、なおかつ中山競馬場に次ぐくらいにタフな急坂も設置されて他に類のない特徴的な舞台に生まれ変わった。

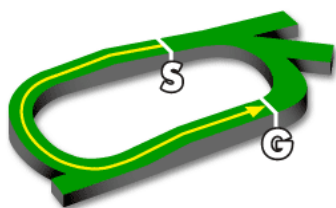
基本的には芝質が柔らかくて3～4コーナーがスパイラルカーブ。その上で直線入り口に急坂があるので、JRAの競馬場の中でも屈指に差しが決まりやすい舞台。そのイメージであってはいるが、時に超高速馬場になったり、タフ馬場すぎてインが伸びるようになったり、超難解な馬場バイアスが発生することが多く、予想するこちら側どころか騎手でさえもどこを通ればいいのかわからなくなる時も多い。そんな中で福永騎手は中京競馬場の全コースで圧倒的な成績を収めており、もう中京競馬場の特殊馬場ならとりあえず黙って福永を買っておいた方がいいと思うぐらい。

ダートコースは基本的に内枠先行有利。時に極端に内枠と先行馬しか来れないような馬場バイアスが発生する時があり、もうそうなった場合には力がある馬でも外枠だったり差しタイプではどうすることもできない。



中京芝1200m

JRAのスプリント戦の中では異質な左回りで直線が長い舞台



JRAのスプリント戦の中でも左回りコースは新潟と中京だけで、なおかつ急坂があって直線も長いのでスタミナと底力が問われる舞台。スピードだけが取り柄の馬では最後に捕まってしまうことが多く、1400m以上の距離を走れるぐらいの方が走りやすい舞台です。

どうしても旧中京コースの外差しレースのイメージが強いので外枠有利に思われがちな舞台ですが、今の中京芝1200mは外枠は圧倒的に不利。

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	11- 10- 6- 84/111	9.9%	18.9%	24.3%	189	90
2枠	9- 9- 12- 85/115	7.8%	15.7%	26.1%	63	104
3枠	5- 13- 6- 95/119	4.2%	15.1%	20.2%	21	98
4枠	10- 9- 10- 94/123	8.1%	15.4%	23.6%	110	96
5枠	10- 8- 11- 96/125	8.0%	14.4%	23.2%	66	104
6枠	5- 4- 10-110/129	3.9%	7.0%	14.7%	62	47
7枠	11- 6- 9-137/163	6.7%	10.4%	16.0%	40	36
8枠	6- 8- 3-153/170	3.5%	8.2%	10.0%	53	30

※中京芝1200mの枠順別成績(2020年1月～)

ご覧の通りで外枠に行くほどに成績が悪くなっていますし8枠の成績は壊滅的。一方で最も成績が良いのは1枠と2枠なので、あんまり他のコースほどバテてはいないけれども内枠の方が有利な舞台と言えます。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	15- 3- 9- 40/ 67	22.4%	28.9%	40.3%	264	173
平地・先行	29- 25- 20- 173/ 247	11.7%	21.9%	30.0%	117	119
平地・中団	19- 31- 24- 345/ 419	4.5%	11.9%	17.7%	53	61
平地・後方	4- 8- 14- 296/ 322	1.2%	3.7%	8.1%	24	27
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※中京芝1200mの脚質別成績(2020年1月～)

急坂があって直線が長くて、となると差し馬が有利にも見えますが、脚質的な成績はJRAの他の1200m戦とあまり変わらずで逃げ先行馬の方が有利。

ただ、これがちょっとクラス別に見ると面白い傾向が出ており、普通ならば新馬、未勝利戦の方がスピードの違いで圧倒できる逃げ馬が有利になりそうなものなのですが、この舞台では新馬、未勝利戦では逃げ先行馬の成績はそこまで。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	2- 1- 3- 10/ 16	12.5%	18.8%	37.5%	35	81
平地・先行	10- 7- 6- 36/ 59	16.9%	28.8%	39.0%	140	80
平地・中団	3- 5- 4- 80/ 92	3.3%	8.7%	13.0%	15	29
平地・後方	1- 3- 3- 68/ 75	1.3%	5.3%	9.3%	51	35
平地・マクリ	0- 0- 0- 0/ 0					

※中京芝1200mの新馬、未勝利戦の脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

一方で1勝クラス、2勝クラス、3勝クラスのレースでは圧倒的に逃げ馬の活躍が目立っています。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	11- 2- 4- 19/ 36	30.6%	36.1%	47.2%	376	240
平地・先行	11- 16- 8- 99/134	8.2%	20.1%	26.1%	64	112
平地・中団	12- 14- 16-180/222	5.4%	11.7%	18.9%	83	78
平地・後方	2- 4- 8-160/174	1.1%	3.4%	8.0%	6	27
平地・マクリ	0- 0- 0- 0/ 0					

※中京芝1200mの1勝クラス、2勝クラス、3勝クラスの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

本質的にはタフでスタミナが問われる舞台なので、若駒にとっては逃げてそのまま押し切るには過酷な舞台。ただ、体力がついてきて古馬になると1200mらしく逃げた馬が有利になるということなんでしょうか。

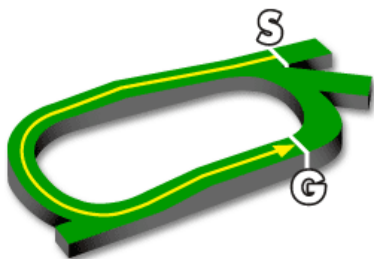
条件戦では逃げ有利の傾向が出ていますが、オープン重賞となるとまた逃げ馬の成績は微妙になって差しも決まる傾向になります。基本的にはタフでしっかりと総合力が問われる舞台ということでしょう。

<まとめ>

- 1200m戦の中では直線も長くて坂もあってタフなので、1400m以上を走れるぐらいの馬の方がいい
- あまり言われていないが、外枠不利で内枠の方が有利な傾向
- 脚質的に他の芝1200mとそこまで傾向は変わらない
- 新馬、未勝利では逃げ馬の成績がそこまで良くないが、成長して古馬条件戦になると逃げ馬の成績が良くなる。オープン重賞になると逃げ馬の成績は良くない。

中京芝1400m

芝1200mから1ハロン伸びてもペース変わらずでタフなレースに



中京芝1200mから距離は1ハロン伸びるが、最初のコーナーまでの距離が伸びるので序盤のペースは同じくらいの速さに。それでいて3コーナーから下り坂なので中盤ラップも落ちませんし、ほぼ間違いなく前傾ラップのハイペース～ミドルペース戦になりやすい。

直線が長くて直線入り口に急坂があってタフな中京コースで、そんな前傾ラップのハイペース戦になれば底力ははっきりと問われるはずで、短距離戦の中では差しも十分に決まる舞台です。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	15-	9-	7-	46/ 77	19.5%	31.2%	40.3%	215	131
平地・先行	26-	26-	33-	193/ 278	9.4%	18.7%	30.6%	111	88
平地・中団	34-	32-	27-	355/ 448	7.6%	14.7%	20.8%	85	83
平地・後方	2-	10-	11-	316/ 339	0.6%	3.5%	6.8%	2	22
平地・マクリ	0-	0-	0-	0/ 0					

※中京芝1400mの脚質別成績(2020年1月～)

中団からの複勝率も20%以上あり、しっかりと差は届いている感じ。一方で逃げ馬の複勝率も40%あるのには驚きで、マイペースで行けた馬はそれなりに粘り込むことも多いということでしょう。

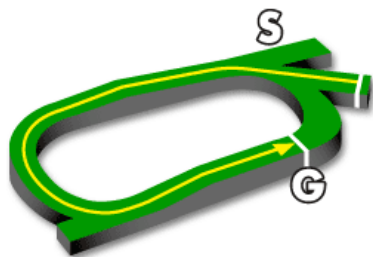
前半からペースが緩まずでかなり過酷な条件なので、2～3歳の若駒レースでは短縮ローテが有利。特に橋ステークスなどは短縮ローテの馬で上位独占となることも多いです。

<まとめ>

- 1200mとペース変わらずで前傾ラップのハイペース戦になりやすい
- 短距離戦の中では差しが決まりやすい舞台
- イメージよりは逃げ馬の成績はますます優秀
- 2～3歳戦では短縮ローテの馬が有利になりやすい

中京芝1600m

しっかり地力問われて差しも決まるフェアな本格派コース



スタートしてすぐにコーナーはあるが、向こう正面の最初は登り坂。極端にテンから速くなることはないが、向こう正面の途中から下り坂になるため、中山芝1600mと同様に中盤ラップがあまり緩まないのがこのコースの特徴。しっかりと中盤で追走力を問われた上で、長い直線で急坂も走らないといけないので地力がはっきりと問われる。クラスが上がるほどに差しも決まりやすい舞台だ。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	20-	17-	11-	83/ 131	15.3%	28.2%	36.6%	290	184
平地・先行	54-	42-	46-	246/ 388	13.9%	24.7%	36.6%	120	88
平地・中団	28-	41-	42-	421/ 532	5.3%	13.0%	20.9%	33	76
平地・後方	12-	15-	16-	413/ 456	2.6%	5.9%	9.4%	42	33
平地・マクリ	1-	1-	0-	4/ 6	16.7%	33.3%	33.3%	36	36

※中京芝1600mの脚質別成績(2020年1月～)

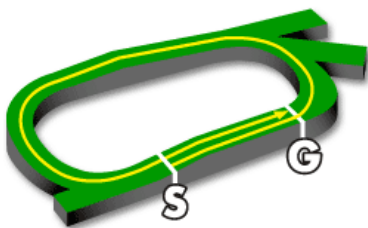
他のコースでは絶望的な複勝率しかない後方脚質の馬が9%も複勝率がありますし、中団の馬の複勝率も20%。全クラス平均でこの結果ですから、クラスが上がってタフなレースになればなるほど差しが決まりやすい舞台と言えるでしょう。

<まとめ>

- 中盤ラップが緩まずでしっかりと地力が問われる舞台
- JRAのコースの中では差しが決まりやすい舞台で、クラスが上がってタフなレースになるほどにその傾向は強まる

中京芝2000m

坂を2回越えるタフなロンスパ戦、ナタの切れ味の末脚が炸裂する



中山芝2000mはスタート直後に急坂があって、最初と最後に合計2回坂を越える必要があるコース。中山競馬場や阪神競馬場も2000m以上の距離では急坂を2回越えますが、小回りではなく直線が長いコースで急坂を2回越えるのは中京芝2000mと中京芝2200mだけ。そんなわけでこの2つのコースはクセが強くてはっきりとした特徴があります。

日付	クラス	馬場	タイム	勝ち馬	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	上3F	中4F	下3F	上5F	下5F	ペース	レース!	
1月15日	2勝	良	2:00.1	ビッグリボン	12.7	10.9	12.6	12.6	12.2	12	12.1	11.7	11.5	11.8	36.2	48.9	35	61	59.1	S	瞬発	
1月15日	OP	良	2:01.0	ルビーカサブランカ	12.5	11.3	13.1	12.9	12.5	12.1	11.8	11.3	11.5	12	36.9	49.3	34.8	62.3	58.7	SS	瞬発	
1月16日	未勝利	良	2:01.9	エイカイマッケンロ	13.1	10.9	12.7	12.6	12.8	12.7	12.2	11.6	11.2	12.1	36.7	50.3	34.9	62.1	59.8	S	瞬発	
1月22日	未勝利	良	2:01.9	リュミナスコア	13.3	12	12.9	12.5	12	12.1	12.3	11.9	11.1	11.8	38.2	48.9	34.8	62.7	59.2	SS	瞬発	
1月22日	3OP	良	2:02.2	リュミナス	13.4	11.7	13.2	12.3	12	12.2	12.4	11.8	11.3	11.9	38.3	48.9	35	62.6	59.6	SS	瞬発	
1月23日	2勝	良	2:01.4	メイサウザンアワー	12.9	11.1	12.7	12.6	12.3	12.2	12.4	11.6	11.6	12	36.7	49.5	35.2	61.6	59.8	S	瞬発	
1月29日	未勝利	良	2:02.4	ハイコースト	12.8	11.4	12.8	12.9	12.6	12.6	12.4	12.2	11.2	11.5	37	50.5	34.9	62.5	59.9	SS	瞬発	
1月30日	新馬	良	2:01.8	ブラックフロッサム	12.9	11.3	12.8	12.6	12.4	12.1	12.1	12.1	11.5	12	37	49.2	35.6	62	59.8	S	平坦	
2月5日	1勝	良	2:02.0	ヴェルトハイム	12.8	11.7	12.8	12.6	12.7	12.3	12.3	11.8	11.3	11.7	37.3	49.9	34.8	62.6	59.4	SS	瞬発	
2月5日	2勝	良	2:04.2	リフレミング	13.3	12	13.5	13.2	13.3	12.7	12.4	12	10.4	11.4	38.8	51.6	33.8	65.3	58.9	SS	瞬発	
2月6日	3OP	良	2:00.5	マテンロウレオ	12.7	11.3	12.2	12.3	12.1	11.9	12.1	11.9	11.8	12.2	36.2	48.4	35.9	60.6	59.9	M	平坦	
3月12日	2勝	良	1:59.2	ナリタブレード	12.5	11.1	12.5	12.3	11.9	11.6	11.9	11.8	11.7	11.9	36.1	47.7	35.4	60.3	58.9	S	平坦	
3月13日	未勝利	良	2:01.4	ストーリア	12.6	10.9	12.6	12.7	12.6	12.7	12.2	11.4	11.6	12.1	36.1	50.2	35.1	61.4	60	S	平坦	
3月13日	OP	良	1:57.2	ジャックドール	12.5	11	12.2	11.9	11.7	11.7	11.6	11	11.3	12.3	35.7	46.9	34.6	59.3	57.9	M	平坦	
3月19日	1勝	稍重	2:02.4	シテフォーラル	12.7	10.9	12.5	12.4	12.3	12.1	12.4	12.2	12	12.9	36.1	49.2	37.1	60.8	61.6	M	消耗	
3月21日	未勝利	良	2:01.7	ストップザタイム	12.7	11.3	12.4	12.5	12	12.2	12.4	11.8	12.1	12.3	36.4	49.1	36.2	60.9	60.8	M	平坦	
3月26日	1勝	重	2:02.7	ヘッズオアテールズ	13.2	11.8	13.6	13.5	11.8	11.2	11.4	11.4	12	12.8	38.6	47.9	36.2	63.9	58.8	S	平坦	
3月27日	未勝利	重	2:03.8	セントカメリア	13.1	11.5	12.5	13	12.7	12.5	12.4	12.2	11.6	12.3	37.1	50.6	36.1	62.8	61	S	平坦	
5月7日	未勝利	良	2:00.7	アマニンゼスト	12.8	10.9	12.8	12.2	12.4	12.6	12.2	11.6	11.5	11.7	36.5	49.4	34.8	61.1	59.6	S	瞬発	
5月7日	2勝	良	1:58.4	ブライムフェイズ	12.7	10.6	12.6	12.7	12	11.9	11.4	11.4	11.1	12	35.9	48	34.5	60.6	57.8	S	瞬発	
5月8日	未勝利	良	2:00.2	ベリウヴェーナ	12.6	11.1	12.8	12.6	12.4	11.9	12.1	11.6	11.3	11.8	36.5	49	34.7	61.5	58.7	S	瞬発	
5月8日	1勝	良	1:59.6	セントカメリア	12.3	11.1	12.5	12.2	12.2	12.1	11.9	11.4	11.8	12.1	35.9	48.4	35.3	60.3	59.3	M	平坦	
5月14日	31勝	重	1:59.8	セントカメリア	12.7	11.2	12.6	12.6	12.1	11.9	12.1	11.4	11.1	11.9	36.5	48.7	34.4	61.2	58.4	S	瞬発	
5月14日	OP	稍重	2:00.5	シフルマン	12.8	11.8	13	12.7	11.8	12	11.8	11.2	11.2	12.2	37.6	48.3	34.6	62.1	58.4	S	平坦	
5月15日	未勝利	良	2:01.2	テューオーアリエス	12.5	11.2	12.8	12.6	12.3	12.2	12.3	11.7	11.7	11.9	36.5	49.4	35.3	61.4	59.8	S	瞬発	
5月15日	1勝	良	2:01.6	シンシアダーリン	12.9	11.8	13.1	12.8	12.5	11.7	11.7	11.4	11.8	11.9	37.8	48.7	35.1	63.1	58.5	SS	瞬発	
5月21日	未勝利	良	2:01.6	デビッドパローズ	12.8	11.3	13.1	13	12.6	12.1	11.9	11.5	11.5	11.8	37.2	49.6	34.8	62.8	58.8	S	瞬発	
5月21日	3勝	良	2:00.6	ヴィオリナ	12.9	11.3	13.4	13	12.6	12.3	11.3	10.7	11.2	11.9	37.6	49.2	33.8	63.2	57.4	SS	瞬発	
5月22日	未勝利	稍重	2:00.5	ヘクトバスカル	12.8	11.1	12.6	12.1	11.8	11.6	12	11.3	12.2	13	36.5	47.5	36.5	60.4	60.1	M	消耗	
5月22日	2勝	良	2:00.3	メイショウボサツ	13.1	11.5	12.8	12.3	11.6	11.6	11.8	11.6	11.8	12.2	37.4	47.3	35.6	61.3	59	S	平坦	
5月28日	1勝	良	2:02.5	アナレンマ	13	11.3	12.7	13	12.7	12.1	12	11.6	11.6	11.9	12.2	37	49.8	35.7	62.7	59.8	SS	平坦
5月28日	2勝	良	2:01.5	ファユエン	13.3	11.8	13.2	12.9	11.6	11.7	11.9	11.7	11.5	11.9	38.3	48.1	35.1	62.8	58.7	S	平坦	
5月29日	未勝利	良	2:01.8	アルファディ	12.8	10.9	13	12.8	12.5	12.1	12	11.8	11.8	12.1	36.7	49.4	35.7	62	59.8	S	平坦	
5月29日	3OP	良	1:59.8	フェニックスラッペン	12.8	10.8	12.5	12.3	12.2	12.3	12.2	11.3	11.5	11.9	36.1	49	34.7	60.6	59.2	S	瞬発	
6月4日	未勝利	良	2:00.5	イスラグランデ	12.8	11	12.8	12.5	12.1	11.9	11.7	11.4	11.6	12.7	36.6	48.2	35.7	61.2	59.3	S	平坦	
6月4日	1勝	良	1:59.8	ゼッフィーロ	12.8	11.1	12.8	12.4	11.7	12.3	12.3	11.6	11.1	11.5	36.7	48.7	34.2	60.8	58.8	S	瞬発	
6月4日	OP	良	1:57.7	ヴェルトライゼンデ	12.4	11.3	12.4	12	12	11.9	11.4	11.3	11.1	11.9	36.1	47.3	34.3	60.1	57.6	S	瞬発	
6月5日	3勝	良	1:59.7	イクスプロージョン	12.6	10.8	12.8	12.6	11.9	11.8	11.9	11.5	11.5	12.3	36.2	48.2	35.3	60.7	59	S	平坦	
6月11日	未勝利	良	2:01.7	ゲートローズ	12.9	10.9	12.7	13.1	12.3	12.3	12.5	11.9	11.2	11.9	36.5	50.2	35	61.9	59.8	S	瞬発	
6月11日	1勝	良	2:01.1	テューオーアリエス	12.8	11.4	12.9	12.5	12.4	12	11.4	11.7	11.4	12.6	37.1	48.3	35.7	62	59.1	S	平坦	
6月12日	2勝	良	2:00.0	ウインプリマン	13.2	10.9	12.3	12	11.8	11.9	11.9	12.1	11.8	12.1	36.4	47.6	36	60.2	59.8	M	平坦	

2022年の中京芝2000mのレースラップ傾向を見ても、序盤はスタート直後に登り坂があることもあってほぼ間違いなくスローペースに。ただ、中京芝2000mは向こう正面の途中から下り坂になるため、そこで勢いがつきやすく、だいたい6ハロン目くらいから仕掛けが始まってロングスパート勝負になりやすい。

そもそも急坂を2回越えて直線も長くてタフな舞台なのに、こんな感じで仕掛けが早いロングスパート勝負になればスタミナと総合力がはっきり問われる感じで、この舞台はとにかくナタの切れ味のロンスパ型差し馬が活躍しやすい。

不器用で小回りコースではなかなか力を発揮しにくい、かといって東京競馬場や新潟競馬場では上がりが速すぎてキレ負けしてしまうような馬にとっては絶好の舞台で、そんな馬がいわゆる「中京巧者」と呼ばれてこのコースだけ走ってくることが多い。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	34-	16-	24-	85/ 159	21.4%	31.4%	46.5%	371	158
平地・先行	67-	69-	56-	329/ 521	12.9%	26.1%	36.9%	78	101
平地・中団	39-	45-	50-	504/ 638	6.1%	13.2%	21.0%	53	61
平地・後方	10-	24-	22-	477/ 533	1.9%	6.4%	10.5%	10	24
平地・マ刈	5-	1-	3-	12/ 21	23.8%	28.6%	42.9%	453	143

※中京芝2000mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月～)

そんなタフでスタミナが問われるナタの切れ味向けの舞台だけあって、差し馬の成績は中京芝1600mよりもさらに優秀。とはいえ、逃げ馬の成績は複勝率46.5%とかなり優秀。前半スローでマイペースで行けることは確実なので、スタミナがあることがわかっている逃げ馬なら自分の形に持ち込んで好走しやすい舞台と言えます。

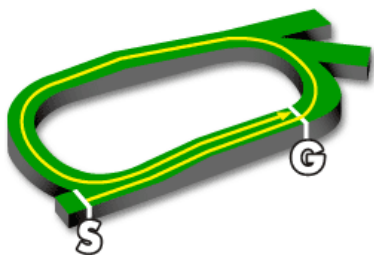
ロングスパート性能がある馬なら確実に末脚を発揮しやすい条件で、ディープインパクト産駒の複勝率は41%と優秀。しっかりと長く良い末脚を使えそうな血統が走りやすい舞台です。

<まとめ>

- 急坂を2回越える上に直線も長いので本質的にタフな舞台
- 向こう正面から下り坂でロンスパ戦になり、ナタの切れ味のロンスパ型が走る
- 差し馬は比較的差し込んできやすい条件
- 前半スローは確定でマイペースで逃げられるので、スタミナがある逃げ馬は自分の形に持ち込みやすい
- ディープインパクト産駒の成績は複勝率41%で優秀

中京芝2200m

中京芝2000mをより差し馬有利でタフにした舞台



基本的には中京芝2000mから距離が200m伸びただけなので、コースの説明自体はほとんど中京芝2000mと同じ。ただ、その距離が200m伸びた分でスタート直後に坂を登る負担が増えるわけで、中京芝2000mよりもさらにスタミナが問われて差しが決まる傾向です。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	8- 8- 12- 48/ 76	10.5%	21.1%	36.8%	141	98
平地・先行	25- 31- 25-166/247	10.1%	22.7%	32.8%	62	95
平地・中団	31- 16- 22-215/284	10.9%	16.5%	24.3%	136	70
平地・後方	6- 13- 13-191/223	2.7%	8.5%	14.3%	13	43
平地・マクリ	2- 4- 0- 7/ 13	15.4%	46.2%	46.2%	129	99

※中京芝2200mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

こうして見ても中京芝2000mで優秀だった逃げ馬の数値が下がって、その分中団と後方の馬の複勝率が上がっている感じ。それだけタフで差しが決まりやすい究極のナタの切れ味のロンスパ差しレースということでしょう。

そんなロンスパ差しレースということで、厩舎イメージに完全に合致する友道厩舎の成績が非常に優秀。複勝率は65%にもなりますし、この条件で友道厩舎は嫌ってはいけません。パツと思いつくだけでも、最近の神戸新聞杯、京都新聞杯、日経新春杯で好走した友道厩舎の馬ってたくさんいますよね？

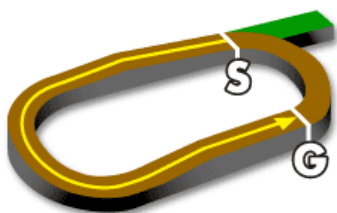
その友道厩舎の馬によく乗っているということもあってか川田騎手も複勝率7割超えで圧巻の成績。種牡馬ではエピファネイア産駒が複勝率42%で素晴らしい成績を誇っています。

<まとめ>

- 中京芝2200mと特徴は同じだが、よりタフで差し有利な傾向に
- 友道厩舎は複勝率65%で非常に得意としている舞台
- 川田騎手は複勝率73%で非常に得意としている舞台
- エピファネイア産駒は複勝率42%で非常に得意としている舞台

中京ダート1200m

全てのクラスで先行馬が圧倒的に有利な「前へ前へ」行くべきコース



中京競馬場のダートコースはコーナー部分で外を通る馬は外に振られやすく、なかなか外を通過して差し込むことが難しい舞台。そんなわけで相対的に先行馬が圧倒的に有利な傾向になっており、この中京ダート1200mもご覧の通りで行った馬の成績は圧倒的。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	39-	25-	16-	57/ 137	28.5%	46.7%	58.4%	333	215
平地・先行	64-	63-	48-	320/ 495	12.9%	25.7%	35.4%	87	111
平地・中団	27-	36-	48-	634/ 745	3.6%	8.5%	14.9%	70	69
平地・後方	8-	12-	25-	615/ 660	1.2%	3.0%	6.8%	7	32
平地・マクリ	0-	0-	0-	0/ 0					

※中京ダート1200mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

逃げ馬の戦績は直線が平坦な新潟ダート1200mをも超えていますし、なおかつこのコースの特徴はクラスが上がっても前に行った馬の成績が落ちないこと。普通なら速い馬が多くなって先行馬が厳しくなり、クラスが上がるほどに差しが決まりやすくなるが、このコースに関してはその傾向が薄い。それだけコーナーで外に振られる差し馬が相対的に不利な舞台と言えるか。

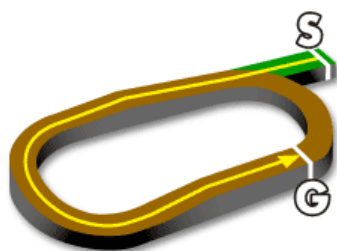
スピード性能が顕著に問われることもあり、ヘニーヒューズ産駒やザファクター産駒など、ノーザンダンサー系統のスピード血統の活躍がやたらに目立っています。

<まとめ>

- コーナーで外に振られる差し馬が不利な舞台
- 圧倒的に逃げ先行馬が有利で、クラスが上がってもその傾向は変わらない
- ヘニーヒューズ産駒やザファクター産駒など、ノーザンダンサー系統のスピード血統の活躍が目立つ

中京ダート1400m

1200mよりは前有利が緩和されるが、それでも前有利な舞台



2コーナー地点の芝の引き込み線からスタート。最初のコーナーまでの距離が長くなるので、前半のペースは中京ダート1200mとさほど変わらないぐらい速くなりやすい。その分で先行馬が苦しくなって、若干1200mよりも前有利の傾向は緩和されている。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	37-	26-	21-	98/ 182	20.3%	34.6%	46.2%	188	156
平地・先行	81-	75-	55-	446/ 657	12.3%	23.7%	32.1%	131	87
平地・中団	52-	62-	69-	814/ 997	5.2%	11.4%	18.4%	63	72
平地・後方	12-	19-	36-	804/ 871	1.4%	3.6%	7.7%	43	44
平地・マク	0-	0-	1-	0/ 1	0.0%	0.0%	100.0%	0	120

※中京ダート1400mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月～)

と言っても、それでも圧倒的に前に行った馬が有利な傾向は変わらず。あくまで中京ダート1200mよりは前有利が緩和されるということです。

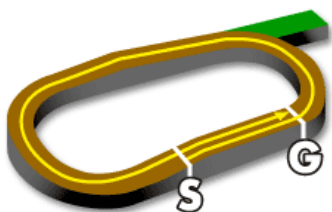
この条件でも1200mと同じで、クラスが上がっても先行馬の成績がそこまで落ちません。やはり、中京競馬場のダートコースは差し馬が外に振られてしまうので、相対的に前に行く馬が有利になりやすいんだと思います。

<まとめ>

- コーナーで外に振られる差し馬が不利な舞台
- 200m距離が伸びることで1200mよりは前有利が緩和されるが、それでも圧倒的に前有利な点は変わらない

中京ダート1800m

スタミナは問われるが、あくまでも重要なのは先行力



直線の急坂の途中部分からのスタート。最初と最後で2回坂を登るということでスタミナが問われるのは間違いないが、それ以上に中京競馬場のダートということで重要になるのは先行力。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	58- 41- 29- 146/ 274	21.2%	36.1%	46.7%	172	129
平地・先行	127- 136- 94- 470/ 827	15.4%	31.8%	43.2%	102	109
平地・中団	44- 51- 88- 878/1061	4.1%	9.0%	17.2%	69	68
平地・後方	13- 14- 28- 890/ 945	1.4%	2.9%	5.8%	17	34
平地・マクリ	6- 8- 7- 25/ 46	13.0%	30.4%	45.7%	45	109

※中京ダート1800mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

まあこの条件は基本的に前に行った馬が有利なのでこの成績も妥当という感じはします。1200mや1400mよりは前に行った馬が圧倒的に有利というわけではなく、3勝クラスやオープン重賞ぐらいになると、タフなレースになって差しもズドンと決まります。

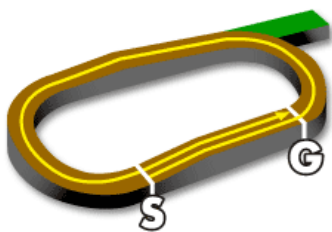
中京ダート1800mは1~2コーナーの半径が狭いために3ハロン地点で一旦ペースが緩み、向こう正面で下り坂部分からじわっと仕掛けが始まってロンスパ戦になることが多いです。

<まとめ>

- 基本的にダート1800mらしく先行有利な条件
- 3勝クラス、オープン、重賞になるとタフなレースも増えて差しが決まる
- 3ハロン目地点で一旦ラップが緩んでからのロンスパ戦になりやすい

中京ダート1900m

ダート1800mから100m距離が伸びる分でスタミナ要素が強まる



ダート1800mから100m距離が伸びただけだが、その分でスタート位置が坂の下になるのでスタミナ要素が強まる傾向。実際に好走脚質を見ても1800mより明らかに逃げ先行馬の成績が悪くなっており、それだけ前の馬が最後にバテて止まるコースということだろう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	11- 16- 12- 67/ 106	10.4%	25.5%	36.8%	90	148
平地・先行	51- 44- 31- 182/ 308	16.6%	30.8%	40.9%	124	111
平地・中団	26- 24- 39- 323/ 412	6.3%	12.1%	21.6%	126	63
平地・後方	4- 7- 10- 350/ 371	1.1%	3.0%	5.7%	5	18
平地・マク	2- 3- 2- 8/ 15	13.3%	33.3%	46.7%	59	203

※中京ダート1900mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

やはりスタミナ要素が強まって前に行く馬は相対的に厳しくはなっている。上級条件になればなるほど差し馬の末脚の質も上がるので、ズバツと差しが決まりやすい。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	6- 8- 7- 18/ 39	15.4%	35.9%	53.8%	158	201
平地・先行	21- 18- 14- 55/108	19.4%	36.1%	49.1%	80	101
平地・中団	7- 6- 12-124/149	4.7%	8.7%	16.8%	243	57
平地・後方	0- 1- 1-131/133	0.0%	0.8%	1.5%	0	2
平地・マク	0- 1- 0- 1/ 2	0.0%	50.0%	50.0%	0	90

※中京ダート1900mの新馬、未勝利脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

上級条件では差しが決まりやすいが、新馬、未勝利レベルではもう圧倒的に前有利。新馬、未勝利ではあんまり1800mとの違いは考えなくても良さそうだ。なぜか佐々木晶三厩舎が凄まじい成績を残している点は注目。

<まとめ>

- 1800mよりも100m伸びた分でスタミナが問われる、上級条件では差しが決まる
- 新馬、未勝利レベルでは圧倒的に逃げ先行馬が有利
- 佐々木晶三厩舎が複勝率7割超えで凄まじい成績を誇る